

2026年
2月8日 日

開場/13:30
開演/14:00

狂言 連吟 狂言鑑賞講座(解説)
連歌盗人 蚊相撲 大原木



栃木県総合文化センター

狂言シリーズ
【第29弾】

狂言万作の会



栃木県総合文化センター メインホール 特設能舞台

●入場料金(全席指定・税込)

S席 5,000円 A席 4,000円
B席 3,000円 B席学生 2,000円
車いす席 2,500円

発売日

2025年10月31日 金 10:00~

(初日の電話予約は14:00~)

●チケット取扱い

栃木県総合文化センタープレイガイド(10:00~19:00)
【電話予約】028-643-1013

【インターネット予約】<https://www.sobun-tochigi.jp> (24時間)
※窓口のほか、セブンイレブンでもお受取りいただけます。

お問い合わせ

(公財)とちぎ未来づくり財団 文化振興課(平日8:30~17:15)
〒320-8530 栃木県宇都宮市本町1-8
TEL028-643-1010

主催/公益財団法人とちぎ未来づくり財団・栃木県 共催/下野新聞社 協力/栃木県謡曲連盟

【お願い・お断り】

- 就学前のお子様の入場はご遠慮ください。
- やむを得ない事情により、出演者・演目等が変更になる場合がございます。
- 車いす席でご鑑賞をご希望の方は、ご購入前に栃木県総合文化センタープレイガイドまでお問い合わせください。
- ホームページにて公演の最新情報をご確認のうえご来場ください。

狂言万作の会

蚊相撲【かずもう】

大名が新しい召使を抱えようと、太郎冠者に探しに行かせる。そこへ、都に上り人の血を吸うため、人間の姿になった江州守山の蚊の精が通りかかり、正体に気づかない太郎冠者は蚊の精を連れ帰る。新しい召使は相撲が得意と聞き、喜んだ大名は早速取らせて見たいと思うが、相手がいないのでやむなく自身で相手をする。蚊に刺されて目を回してしまふ。蚊の正体に気づいた大名は、勝つためにもあるものを持ち出すのだが…。

人間である大名と蚊の精が相撲をとるといふ、何とも奇想天外な作品です。大らかな大名と、蚊の特徴がデフォルメされた蚊の精の動きにご注目下さい。

連歌盗人【れんがぬすびと】

ある男が連歌の初心者の会の当番に当たったが、貧乏なため準備ができない。そこで同じく当番の、やはり貧乏な男と相談し、知り合いの金持ちの家から道具類を盗み出すことにする。正面は戸締りが厳重なので、裏手の垣をのこぎりで破り、家の中に忍び込むと、そこは来客があつたままの取り散らかつた座敷。置き去りにされた懐紙に発句が記されているのを見た二人は、ついつい句を付け始めてしまふ。夢中で句を付けているうちに、金持ちの亭主が帰ってきて…。

中世、連歌は貴族から一般庶民にいたるまでの間で大流行しました。三つの役柄それぞれに見せ場がある本作品。熟達の手をお楽しみ下さい。

狂言鑑賞講座(解説) 中村 修一

連吟 大原木

狂言 蚊相撲

大名 野村 萬斎

太郎冠者 蚊の精

石田 幸雄
野村 裕基
後見 飯田 豪

狂言 連歌盗人

有徳人 野村 万作

盗人 深田 博治
盗人 高野 和憲
後見 月崎 晴夫

野村 万作

のむら まんさく

1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者、日本芸術院会員。文化勲章を受章。祖父・故初世野村萬斎及び父・故六世野村万蔵に師事。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。軽妙洒脱かつ緻密な表現のなかに深い情感を湛える、品格ある芸は、狂言の頂点を感じさせる。国内外で狂言普及に貢献。ハワイ大・ワシントン大では客員教授を務める。狂言の技術の粋が尽くされる秘曲『釣狐』に長年取り組み、その演技で芸術祭大賞を受賞したほか、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、松尾芸能賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、ベストフアーザー賞、朝日賞、旭日小綬章、中日文化賞、ジャパン・ソサエティ賞、NHK放送文化賞等多数の受賞歴を持つ。『月に憑かれたヒロ』『子午線の祀り』『秋江』『法螺寺』『敦一山月記・名人伝』等、狂言師として新たな試みにもしばしば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。



野村 萬斎

のむら まんさい

1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定保持者。東京藝術大学音楽学部卒業。「狂言」ごさる乃座「主宰。国内外で多数の狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、舞台『敦一山月記・名人伝』『子午線の祀り』『能狂言 鬼滅の刃』『ハムレット』など古典の技法を駆使した作品の演出など幅広く活躍。現在の日本の文化芸術を牽引するトップランナーのひとり。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、毎日芸術賞千田是也賞、読売演劇大賞最優秀作品賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞、松尾芸能賞大賞、2024年5月、坪内逍遙大賞を受賞した。石川県立音楽堂アーテイスティック・クリエイティブ・ディレクター。(公社)全国公立文化施設協会会長。



野村 裕基

のむら ゆうき

1999年生。野村萬斎の長男。祖父・野村万作及び父に師事。慶応義塾大学法学部卒業。能楽協会会員。3歳の時に『観猿』で初舞台後、子方として国内外で多数の舞台に出演。修業を続け、『三番叟』『奈須と市語』『釣狐』を披く。世田谷パブリックシアター『ハムレット』能狂言『鬼滅の刃』で重要な役を演じ、活動の場を広げている。



会場のご案内 栃木県総合文化センター

〒320-8530 栃木県宇都宮市本町1-8 ☎ 028(643) 1000 (代表)

交通アクセス

- 電車をご利用の場合
 - ・JR宇都宮駅(西口)下車 バスで「県庁前」下車 徒歩約3分、またはタクシーで約5分
 - ・東武宇都宮線:東武宇都宮駅下車 徒歩で約10分(約700m)
- バスをご利用の場合
 - ・「県庁前」停留所下車 徒歩で約3分
 - ・JR宇都宮西口から①②⑥⑦⑩⑬のりば等 県庁前経由にて
- 自動車をご利用の場合
 - ・東北自動車道 鹿沼ICから約9km 約30分
 - ※会場には駐車場がございません。県庁駐車場をご利用いただくか、周辺の有料駐車場をご利用下さい。
 - ※県庁地下駐車場が2時間無料でご利用いただけます。(土・日・祝9:45~21:30/平日17:00~21:30)

